

研究開発提案書別紙
(難病プラットフォーム用)

1. 基本情報

研究開発課題名	
研究開発代表者 氏名	
研究開発代表者 所属機関名・部署・役職	

2. プラットフォーム

(1) プラットフォームの全体デザインについて
(2) 対象とする情報について

コメントの追加 [A1]: プラットフォーム (情報基盤) の全体デザインについて、概要図等を用いて具体的に記載してください。

コメントの追加 [A2]: どのような情報をどのように収集するのか、具体的に記載してください。

機密性 2 情報

(3) 情報の統合と知見の創出について
(4) 情報提供元との連携について
(5) 重複情報への対応について
(6) 個人情報管理およびセキュリティについて

コメントの追加 [A3]: 異なる情報をどのように統合管理するのか、またそれらの情報をどのように解析して、新たな知見を見いだすのかについて、具体的に記載してください。

コメントの追加 [A4]: データシェアリングを促進するために、情報提供元に対してどのようなメリット（インセンティブ）を提供するのか、具体的に記載してください。
情報提供元に対する ELSI 関連の支援について、具体的に記載してください。
また情報提供元と随時情報共有が可能な体制をどのように構築するのか、具体的に記載してください。

コメントの追加 [A5]: 個人の情報が重複することへの対応について、具体的に記載してください。

コメントの追加 [A6]: 情報基盤における個人情報管理体制およびセキュリティについて、具体的に記載してください。

機密性 2 情報

(7) 二次活用について

コメントの追加 [A7]: 二次活用をどのように推進するのか、データフローや ELSI への対応、運営体制、審査体制などを含めて、具体的に記載してください。

(8) レジストリ構築支援について

コメントの追加 [A8]: 各研究班へのレジストリ構築支援について、その内容を具体的に記載してください。

3. AI システム

(1) AI システムの全体デザインについて
(2) AI システム開発で対象とする情報について
(3) AI システムの検証法について

コメントの追加 [A9]: AI システムの全体デザインについて、概要図等を用いて具体的に記載してください。

コメントの追加 [A10]: AI システム開発を行う上で、対象とする情報の種類と内容、規模等について、具体的に記載してください。

コメントの追加 [A11]: 開発した AI システムの検証法を具体的に記載してください。

機密性 2 情報

(4) AI を活用する目的と AI システムの開発がもたらす効果

コメントの追加 [A12]: なぜ AI を用いるのか、また開発した AI システムが研究や臨床にどのような効果をもたらすのか、具体的に記載してください。

4. 研究終了後のマイルストーンについて

コメントの追加 [A13]: 研究終了後（2021 年以降）のマイルストーンについて記載してください。情報基盤や AI システムから生じた開発物に関する研究終了後の取扱いについて、内容に含めること。

5. 他事業や国際連携について

コメントの追加 [A14]: 臨床ゲノム情報統合データベース事業や臨床的・イノベーション・ネットワーク推進支援事業などの他事業との連携、国際連携について、具体的に記載してください。